

～体操のまちに、笑顔咲く～

ジムリーナ トライアルデー

2月1日⑤、2日⑥には、ジムリーナで体験会が開催され、多くの市民が訪れました。さまざまな競技用体操器具やジュニア用体操器具にチャレンジし、体操のまち上越に、たくさんの笑顔が咲きました。



⑦トランポリンの森ひかる選手(左)と岸彩乃選手(右)  
(金沢学院大学クラブ)



⑫ベアトリス・カルドーズ選手  
(ポルトガル女子体操競技チーム)

②星野力維選手(つり輪)、③鈴木湧選手(平行棒)、④古谷嘉章選手(鉄棒)(いずれもコナミススポーツ)、⑤小池亜優選手(段違い平行棒、日本体育大学)、⑧⑨国土館大学の男子新体操、⑩⑪日本女子体育大学の女子新体操

【撮影】①～④、⑦、⑨～⑪：市民カメラマン 丸山治夫さん

※今回の巻頭と次のページの特集記事は、読みやすいように文字を大きく、行間を広めに取りました。

超一流の演技で観客を魅了

上越市立上越体操場  
JOETSU GYMNASICS ARENA

ジムリーナ  
GYMRENA  
1/26日⑩ オープン



1月26日⑩、澄みわたる青空の下、雄大な日本海を望む大潟区九戸浜に上越体操場ジムリーナがオープンしました。

記念式典で村山市長は「多くの先人たちがこの地で体操のまち上越としての歩みを積み重ね、

今日という日につながった。末永く愛していただきたい」と挨拶しました。

式典終了後には、体操の演技披露があり、オリンピック選手らの超一流の演技に、900人の来場者は息をのみ、大きな拍手を送りました。

①加藤凌平選手(コナミススポーツ)



⑥大潟町中学校出身の江俣有寿彩選手(船橋市立船橋高等学校)



◀市内のジュニア選手を代表して喜びの言葉を発表した百目鬼大揮さん(関根学園高等学校2年)と西條りりかさん(大潟町中学校2年)は、「この体育館から世界へ羽ばたける選手になれるよう努力します」と決意を述べました。